

平成30年度

全国高等学校家庭科被服製作技術検定・食物調理技術検定研究大会〈愛知大会〉

大会実行委員長あいさつ

愛知県立豊丘高等学校
平 松 直 哉



桜田（さくらた）へ 鶴（たづ）鳴き渡る 年魚市潟（あゆちかた）
潮干（しほひ）にけらし 鶴鳴き渡る 【万葉集】

愛知の語源といわれる年魚市（あゆち）潟は、現在の名古屋市熱田区・南区一帯、当時は熱田台地の南縁に沿った遠浅の海岸線を指していたようです。飛んで行く鶴の姿を見て干潟の潮が引いたらしい、と詠んだ一首です。年魚市潟へ向かって飛んでいく鶴に自身の旅路姿を重ねたのかも知れません。

かねてよりご案内のとおり、三年に一度開催の全国高等学校家庭科被服製作技術検定・食物調理技術検定研究大会を、愛知県名古屋市で開催させていただくことになりました。昔より交通の要路として多くの旅人が行きかった地で、熱田台地北西端に築かれた名古屋城に隣接するホテルナゴヤキャッスルを会場に、実り多き大会となるよう現在準備に邁進しているところであります。

高等学校における家庭科技術検定の信頼性及び客観性を担保するため、全国より多くの先生方のご参加をお待ちしております。